

IV [ 家畜飼養狀況  
家畜衛生防疫 ]

# 目 次

1	家畜飼養状況	(ページ)
(1)	年次別家畜飼養戸数及び頭羽数の推移	1
(2)	過去5カ年間における家畜飼養状況の推移	2
(3)	平成21年次行政区別家畜飼養頭羽数	3
(4)	畜産物卸売価格の推移	1 3
(5)	国内畜産物自給率の推移	1 3
(6)	京都市における畜産物の需要状況の推移	1 4
(7)	京都市内畜産物生産額の推移	1 5
(8)	地域別家畜飼養状況	1 5
2	家畜衛生防疫	
(1)	平成21年度家畜衛生防疫事業実績	1 6
(2)	京都市内における過去5カ年間の家畜伝染病発生状況	1 6
(3)	平成21年度家畜衛生防疫事業実施表	1 7
(4)	平成21年度患畜診療内容	1 7
(5)	家畜法定伝染病の種類	1 8

内容についての御質問等は、京都市産業観光局農林振興室農業振興整備課 電話 075-222-3352 まで御連絡ください。

# 1. 家畜飼養状況

(1) 年次別家畜飼養戸数及び頭羽数の推移

種別 年次	乳牛	肉用牛 (役牛を含む)	馬	豚	山羊	綿羊	鶏	みつばち	自給飼料		
									水田	畑	牧草地
10	7戸 173頭	12戸 133頭	11戸 164頭	8戸 3,050頭	1戸 28頭	4戸 36頭	26戸 28,082羽	3戸 430群	—a	41a	—a
11	6 175	10 106	10 143	7 2,644	3 16	4 28	26 22,770	3 334		12.2	
12	6 168	11 153	10 140	6 1,975	2 17	4 26	23 20,835	3 338	—	—	—
13	5 129	11 129	10 136	6 842	2 23	4 18	24 20,285	3 333	—	—	—
14	5 151	9 97	10 141	5 756	2 23	4 14	29 23,930	2 330	—	—	—
15	5 136	9 103	10 141	5 937	2 15	3 16	29 23,930	3 312	—	—	—
16	5 127	10 110	10 130	5 1,568	1 14	2 12	22 20,423	4 309	—	—	—
17	4 95	8 67	11 173	5 1,937	1 14	2 6	28 19,674	5 230	2,989	—	—
18	4 89	5 60	12 161	2 22	2 15	3 6	30 20,082	3 204	—	—	—
19	4 73	3 41	12 153	3 32	3 8	2 4	35 17,909	7 210	—	—	—
20	3 48	3 70	12 157	3 39	4 27	3 8	29 17,843	6 192	—	—	—
21	3 48	3 74	11 164	3 66	4 20	5 16	27 16,921	9 199	—	—	—

(2) 過去5ヶ年間に於ける家畜飼養状況の推移

家畜飼養状況

(京都市 平成21年2月1日)

(各年2月1日現在)

年次	種別	乳牛			豚			鶏		
		戸数	頭数	一戸平均	戸数	頭数	一戸平均	戸数	頭数	一戸平均
17	実数	4	95	23.8	5	1,937	387.4	28	19,674	702.6
	(指数)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)
18	実数	4	89	22.3	2	22	11.0	30	20,082	669.4
	(指数)	(100.0)	(93.7)	(93.7)	(40.0)	(1.1)	(2.8)	(107.1)	(102.1)	(95.3)
19	実数	4	73	18.3	3	32	10.7	35	17,909	511.7
	(指数)	(100.0)	(76.8)	(76.9)	(60.0)	(1.7)	(2.8)	(125.0)	(90.7)	(72.8)
20	実数	3	48	16.0	3	39	13.0	29	17,843	615.3
	(指数)	(75.0)	(50.5)	(67.2)	(60.0)	(2.0)	(3.3)	(103.6)	(90.7)	(87.6)
21	実数	3	48	16.0	3	66	22.0	27	16,921	626.7
	(指数)	(75.0)	(50.5)	(67.2)	(60.0)	(3.4)	(5.7)	(96.4)	(86.0)	(89.2)

- (1) 乳用牛(酪農)  
乳用牛飼養戸数は3戸で前年と変わらず、飼養頭数48頭、及び1戸あたりの平均飼養頭数16頭も前年と変わっていない。
- (2) 豚(養豚)  
豚の飼養戸数は3戸で前年と変わらず、飼養頭数は66頭で27頭増加したが、養豚業を営んでいるのは皆無となっている。
- (3) 鶏(養鶏)  
鶏の飼養戸数は27戸で前年より2戸減少し、飼養羽数は16,921羽で922羽減少している。1戸あたりの平均飼養羽数は626.7羽で前年より11.4羽増加している。

(3) 平成21年次行政区別家畜飼養頭羽数

(平成21年2月1日現在)

種別 行政区	乳牛	肉用牛 (役牛を含む)	馬	豚	鶏	みつばち	自給飼料		
							水田	畑	牧草地
北区	2戸 39頭	1戸 1頭	4戸 49頭	1戸 1頭	1戸 80羽	1戸 1群	-a	-a	-a
左京区	-	-	4 53	2 16	14 6,112	1 3	-	-	-
南区	-	-	-	-	1 5,500	1 3	-	-	-
山科区	-	-	-	-	-	1 4	-	-	-
右京区	1 9	2 64	1 40	-	3 210	2 2	-	-	-
西京区	-	-	1 4	-	4 1,879	-	-	-	-
伏見区	-	1 10	1 18	1 50	4 3,140	4 187	-	-	-
京都市計	3 48	3 74	11 164	3 66	27 16,921	9 199	-	-	-
京都府	101 5,836	124 6,732	44(注1) 387	21 17,631	946(注2) 2,275,143	102 864	10,566	8,949	6,326
割合	3.0% 0.8%	2.4% 1.1%	25% 42.4%	14.3% 0.4%	2.9% 0.7%	8.8% 23.0%	0%	0%	0%

※ 自給飼料の府の数値は、「畜産の動向」の資料作物作付状況の推移の地目別の数値

(注1) 馬, ろば, ポニーを含む。 (注2) 養鶏業以外の飼養者を含む。

飼養戸数及び飼養頭羽数

(第1表の1)

種別 行政区別	牛																																									
	乳用牛												肉用牛																													
	雌(ホルスタイン種)			雌(その他)			種雄牛		頭数計	肥育頭数	乳用種	戸数		繁殖牛				子牛	肥育牛			頭数計	戸数				一貫経営の頭数内訳															
	成牛	育成牛	子牛	成牛	育成牛	子牛	成牛	育成牛				肥育戸数	うち乳用種	成牛	育成牛	種雄牛	計		肉用牛		乳用種		計	繁殖	肥育			一貫	合計	繁殖	子牛	肥育										
雌									去	雌	去							肉	乳	両	計																					
北区	30	9						39			2																															
右京区	9							9			1																9	8	18	29	64	64		1		1	2		2			
伏見区																																										
計	39	9						48			3																9	8	18	29	64	74		1		2	3		3			

- (注：乳用牛)
- 1 成牛とは、分娩したことのある牛（経産牛）。
  - 2 育成牛とは、6ヶ月齢以上で分娩するまでの牛。
  - 3 子牛とは、6ヶ月齢未満の牛。
  - 4 種雄牛については、25ヶ月齢未満を育成牛とする。

- (注：肉用牛)
- 1 成牛とは、16ヶ月齢以上の牛（ただし雌の肥育素牛は除く）。
  - 2 育成牛とは、6ヶ月齢以上、16ヶ月齢未満の牛。
  - 3 子牛とは、6ヶ月齢未満の牛。
  - 4 雄の肥育牛は去勢に入れる。
  - 5 肥育牛欄の去は去勢牛。
  - 6 戸数欄の肉は和牛等の肉用牛、乳はホルスタイン種等の乳用種。

(第1表の2)

種別 行政区別	豚																															
	繁殖豚														子豚			肥育豚			戸数計				一貫経営の頭数内訳							
	純粋種										雑種				頭数計	純粋	雑種	頭数計	純粋	雑種	頭数計	総頭数計	繁殖	肥育	一貫	合計	繁殖	子豚	肥育			
	ランドレース(L)		大ヨークシャー(W)		ハンプシャー(H)		デュロック(D)		その他		♂	♀	うちLW(WL)																	うちハイブリッド豚		
	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀			♂	♀	♂	♀	♂	♀														
左京区								2	4	1	9			(2)	(1)	(7)	16							16	2				2			
伏見区																						50	50	50		1			1			
計								2	4	1	9			(2)	(1)	(7)	16					50	50	66	2	1			3			

- (注) 1 繁殖豚の「その他」についてはL. W. H. D. 以外の純粋種。  
2 繁殖豚には育成豚を含める。  
3 繁殖豚の雑種の項のLW(WL)及びハイブリッド豚の頭数は、雑種の内数とする。  
(参考 ①ハイパー ②デカルプ ③ケンボロー ④バブコップ ⑤ウォールス ⑥SPF豚 ⑦京都ポーク ⑧他)  
4 子豚は、4ヶ月齢未満の豚。  
5 肥育豚は、4ヶ月齢以上で出荷までの豚。  
6 戸数は、繁殖、肥育、一貫は重複させない。  
7 一貫経営の頭数内訳は、全体の内数とする。

(第1表の3)

行政 区別	種 別	鶏																				
		種 鶏						採 卵 鶏						ブ ロ イ ラ ー			総 羽 数 計	総 戸 数 計				
		卵 用 鶏			ブ ロ イ ラ ー			羽 数 計	戸 数 計	成 鶏	う ち 国 産 鶏	育 成	う ち 国 産 鶏	羽 数 計	う ち 国 産 鶏	戸 数			う ち 国 産 鶏	羽 数	戸 数	年 間 出 荷 羽 数
		鶏 種	羽 数	戸 数	鶏 種	羽 数	戸 数															
北 区									80	(80)			80	(80)	1	(1)				80	1	
左京区									2,583	(2,583)	850	(850)	3,433	(3,433)	8	(8)	2,679	8	1,963	6,112	16	
南 区									5,000	(5,000)	500	(500)	5,500	(5,500)	1	(1)				5,500	1	
右京区									210	(210)			210	(210)	3	(3)				210	3	
西京区	白レグ	332	1	京地どり	166	1	498	2	931	(931)			931	(931)	3	(3)	450	1	4,000	1,879	6	
	ナゴヤ																					
	ロート																					
	プリモス ゴールドン																					
伏見区									2,840	(2,840)	300	(300)	3,140	(3,140)	4	(4)				3,140	4	
計		332	1		166	1	498	2	11,644	(11,644)	1,650	(1,650)	13,294	(13,294)	20	(20)	3,129	9	5,963	16,921	31	

- (注)
- 1 種鶏には、鶏種（品種名又は銘柄）を記入。
  - 2 採卵鶏の成鶏とは、180日齢以上のにわとり。育成鶏は180日齢未満のにわとり。
  - 3 採卵鶏の欄に、国産鶏羽数、国産鶏飼養戸数を内数として（ ）内に記入。
  - 4 ブロイラーの羽数には、 $\text{常時飼養羽数} = \frac{\text{年間出荷羽数}}{\text{回 転 率}}$
  - 5 総戸数計には鶏種別戸数が一部重複。

(第1表の4)

種別 行政区別	綿羊					山羊					馬				ロバ		ポニー		みつばち		マガモ		アヒル・アイガモ	
	めす	おす	頭数計	品 種	戸 数	めす	おす	頭数計	品 種	戸 数	種 馬	種馬以外	頭 数	戸 数	頭 数	戸 数	頭 数	戸 数	群 数	戸 数	羽 数	戸 数	羽 数	戸 数
北 区							2	2	トカラ	1		49	49	4			8	3						
上京区																								
左京区	1	6	7	サフォーク ユリデール	2		3	3	日本ザ ーネン	1		53	53	4	1	1			3	1	1	1	6	3
山科区																	1	1	4	1			7	2
南 区																			3	1			14	2
右京区	3	2	5	サフォーク 等	2		2	2	トカラ 雑	1		40	40	1			2	1	2	2			1	1
西京区	3	1	4	雑	1	13		13	雑	1		4	4	1	1	1	3	1					4	1
伏見区												18	18	1			6	1	187	4				
計	7	9	16		5	13	7	20		4		164	164	11	2	2	20	7	199	9	1	1	32	9

- (注) 1 種馬とは、繁殖を目的に飼養する雌雄馬。  
2 種馬以外とは、乗馬、競争用繁殖以外の目的で飼養する雌雄馬。  
3 小動物のうち、趣味等で飼育しているものは含まない。

種 別  行政区別	フランスガモ		がちょう		七面鳥		きじ		鳥骨鶏		イノシシ		ミニブタ		うさぎ		実験用 マウス		実験用 ラット		
	羽 数	戸 数	頭 数	戸 数	頭 数	戸 数	頭 数	戸 数	匹 数	戸 数	匹 数	戸 数									
	北 区									62	3										
上京区																					
左京区			5	1			5	1	91	5	14	1	2	1	15	3	1,923	6	147	5	
山科区									23	4											
南 区									57	4											
右京区									303	14					4	2					
西京区	7	1	4	1	4	1			30	6			2	1	50	1					
伏見区									68	10											
計	7	1	9	2	4	1	5	1	634	46	14	1	4	2	69	6	1,923	6	147	5	

(第1表の5) 自給飼料

行政 区別	種 別	飼料作物		飼料作物作付面積 (a)									種目別飼料作物作付面積 (a)							放牧利用山林原野地 (ha)	(参考) 地力増進物										
		作付戸数		田						牧草地			冬(秋)作			夏作			永年作		作付戸数	面積 (a)			計						
		耕種農家	畜産農家	計	転作	裏作	小計	うち借地	畑	個人	共有	計	うち畜産農家作付面積	グ ラ ス	イ タ リ ア ン ラ イ	青刈り麦類	飼料用根菜類	その他	とうもろこし			青刈り	ソ ル ガ ム	青刈りヒエ		その他	永年牧草	とうもろこし	ソ ル ガ ム	れ ん げ	ク ロ ー バ
南区																								4		57.4		57.4			
右京区																								3		17.2		17.2			
西京区																								15		126.7		126.7			
伏見区																								15		190.0	9.4	199.4			
計																								37		391.3	9.4	400.7			

(第2表の1)

## 規模別飼養戸数および頭羽数

種別 行政区別	規模別戸数及び頭数	牛																										総飼養戸数	総飼養頭数			
		乳用牛									肉用牛																					
		飼養規模									繁殖牛				肥育牛(肉専用種)							肥育牛(乳用種肥育牛)										
		1	10	15	20	30	40	50	戸数計	飼養頭数	飼養規模				飼養頭数	飼養規模							飼養頭数	飼養規模						飼養頭数		
		1	5	10	20	戸数計	1	5	10		20	50	100	戸数計		1	10	20	50	200	戸数計											
9頭	14頭	19頭	29頭	39頭	49頭	頭以上	戸数計	1	5	10	20	戸数計	1	5	10	20	50	100	戸数計	1	10	20	50	200	戸数計	9頭	19頭	49頭	199頭	頭以上	戸数計	
北区	戸数			1	1				2																					2		
	頭数			19	20				39																					39		
左京区	戸数																															
	頭数																															
右京区	戸数	1							1											2						1			1	4		
	頭数	9							9											2						47			47	73		
伏見区	戸数																															
	頭数																															
計	戸数	1		1	1				3											2						1			1	6		
	頭数	9		19	20				48											2						47			47	112		

(注) 乳用牛及び肉用牛(繁殖牛)の規模別頭数には、子牛及び種雄牛は含まない。

(第2表の2)

種別 行政区別	規模別戸数及び頭数	豚																	
		繁殖豚 (子取り用雌豚)								肥育豚								総飼養戸数	総飼養頭数
		飼養規模							飼養頭数	飼養規模							飼養頭数		
		1～5頭	6～10頭	11～20頭	21～30頭	31～50頭	51頭以上	戸数計		飼養頭数	20頭以下	21～50頭	51～100頭	101～500頭	501～1,000頭	1,001頭以上		戸数計	飼養頭数
左京区	戸数	1		1				2	/									2	
	頭数	2		14				/	16								/	16	
伏見区	戸数							/		1						1	/	1	
	頭数							/		50						/	50	50	
計	戸数	1		1				2	/		1					1	/	3	
	頭数	2		14				/	16		50					/	50	66	

- (注) 1 豚の規模別頭数には、子豚及び種雄豚は含まない。  
2 一貫経営は、戸数、頭数とも繁殖と肥育の双方に重複して記入し、一貫経営に係る内数( )に添記した。

(第2表の3)

種別 行政区別	規模別戸数及び羽数	鶏														総飼養戸数	総飼養羽数
		採卵鶏								ブロイラー							
		飼養規模							飼養羽数	飼養規模				飼養羽数			
		100羽以下	101～300羽	301～1,000羽	1,001～5,000羽	5,001～10,000羽	10,001羽以上	戸数計		飼養羽数	1,000羽以下	1,001～5,000羽	5,001羽以上		戸数計		
北区	戸数	1						1								1	
	羽数	80							80								80
左京区	戸数	5	1	1	1			8		7	1			8		16	
	羽数	283	150	400	1,750				2,583	529	2,150				2,679		5,262
南区	戸数				1			1								1	
	羽数				5,000				5,000								5,000
右京区	戸数	2	1					3								3	
	羽数	70	140						210								210
西京区	戸数	1		2				3		1				1		4	
	羽数	31		900					931	450					450		1,381
伏見区	戸数	3			1			4								4	
	羽数	140			2,700				2,840								2,840
計	戸数	12	2	3	3			20		8	1			9		29	
	羽数	604	290	1,300	9,450				11,644	979	2,150				3,129		14,773

- (注) 1 採卵鶏の規模別羽数には、育成鶏を含まない。  
2 ブロイラーの規模別羽数には、特種鶏（京地どり、京赤地どり等の肉養鶏羽数）を含む。  
3 総飼養戸数には、鶏種別戸数が一部重複。

(4) 畜産物卸売価格の推移

(単位kg当たり単価 円)

畜産物名 年度	牛肉 (乳牛)	牛肉 (和牛)	豚肉	牛乳 (飲用向け)	鶏卵
13	259	1,577	452	96.6	166
14	717	1,787	419	97.1	173
15	583	1,987	381	97.1	150
16	876	2,096	420	97.5	177
17	728	2,174	430	97.5	198
18	910	2,174	442	97.5	178
19	756	2,119	466	97.9	167
20	666	1,917	474	110.9	203

京都市調べ

(5) 国内畜産物自給率の推移

(単位 %)

畜産物名 年度	牛肉	豚肉	牛乳・ 乳製品	鶏卵	純国内産 飼料自給率 (TDN換算)
12	34	57	68	95	26
13	36	55	68	96	25
14	39	53	69	96	25
15	39	53	69	96	23
16	44	51	67	95	25
17	43	50	68	94	25
18	43	52	67	95	25
19	43	52	66	96	25
20	44	52	70	96	26

農業白書より

## (6) 京都市における畜産物の需用状況の推移

(単位 t-精肉換算 ・%)

年次	牛 肉			豚 肉			鶏 肉			肉 類 計			牛 乳			鶏 卵		
	生産量	需用量	自給率	生産量	需用量	自給率	生産量	需用量	自給率	生産量	需用量	自給率	生産量	需用量	自給率	生産量	需用量	自給率
11	36	10,295	0.3	340	8,001	4.2	24	7,427	0.3	400	25,723	1.6	1,071	68,582	1.6	263	22,756	1.2
12	29	9,832	0.3	152	8,943	1.7	26	8,061	0.3	207	26,836	0.8	822	75,933	1.1	248	23,982	1.0
13	26	8,936	0.3	182	8,129	2.2	31	7,706	0.4	239	24,771	1.0	963	71,922	1.3	291	22,978	1.3
14	26	7,162	0.4	171	8,220	2.1	32	7,829	0.4	229	23,211	1.0	867	71,090	1.2	287	20,505	1.4
15	26	7,043	0.4	288	9,393	3.1	16	8,302	0.2	331	24,738	1.3	810	78,508	1.0	281	22,503	1.2
16	18	7,286	0.2	356	9,343	3.8	13	8,400	0.2	388	25,028	1.6	606	79,123	0.8	278	21,868	1.3
17	17	6,464	0.3	4	8,992	0.0	20	7,658	0.3	41	23,114	0.2	567	78,390	0.7	263	20,714	1.3
18	13	7,588	0.2	6	9,098	0.1	18	7,915	0.2	36	24,601	0.1	465	70,768	0.7	234	24,292	1.0
19	16	6,492	0.2	7	9,719	0.1	20	8,876	0.2	43	25,087	0.2	306	63,900	0.5	224	20,552	1.1
20	17	6,826	0.2	9	11,129	0.1	23	11,277	0.2	49	29,232	0.2	306	62,951	0.5	214	21,973	1.0

(7) 京都市内畜産物生産額の推移

(単位 千円―枝肉換算)

畜産物名	年						
	14	15	16	17	18	19	20
牛肉	45,819	43,526	34,482	28,702	22,317	25,262	23,009
豚肉	95,510	146,255	199,584	2,341	3,510	4,498	5,866
鶏肉	5,393	1,630	1,072	1,455	1,289	1,670	2,182
牛乳	84,160	78,590	59,048	55,319	45,374	29,957	33,935
鶏卵	49,735	42,148	49,266	52,166	41,703	37,432	43,532
計	280,617	312,149	343,452	139,983	114,193	98,819	108,524

(8) 地域別家畜飼養状況

(平成 21. 2. 1 現在)

		乳牛	豚	鶏	地域別の分布 (%)
市街化区域	戸数	1	3	5	9 (27.3)
	頭数	9	66	9,130	
農振区域	戸数	—	—	16	16 (48.5)
	頭数	—	—	5,414	
その他区域	戸数	2	—	6	8 (24.2)
	頭数	39	—	2,377	
京都市合計	戸数	3	3	27	33 (100)
	頭数	48	66	16,921	

## 2. 家畜衛生防疫

(1) 平成21年度家畜衛生防疫及び畜産環境対策指導実績

	家畜別	事業内容	頭羽数	件数
予防注射	牛	イバラギ病	-	-
		牛伝染性鼻気管炎	-	-
		三種混合	-	-
	豚	豚コレラ	-	-
		豚丹毒	-	-
		流行性脳炎	-	-
鶏	ニューカッスル病	9,200	3	
検査	牛	結核病	-	-
		ブルセラ病	-	-
		肝てつ	-	-
	豚	豚コレラ	-	-
		豚丹毒	-	-
		オーエスキー病	-	-
		豚流行性下痢症	-	-
		豚トキソプラズマ	-	-
		伝染性萎縮性鼻炎	-	-
	鶏	ニューカッスル病	-	-
		家きんサルモネラ感染症	240	1
		呼吸器性マイコプラズマ病	-	-
馬	伝染性貧血	186	15	
みつばち	腐そ病	50	3	
飼料	製造業者立入	-	-	
投薬	みつばち	バロア病	1	1
家畜衛生・環境対策	乳牛	酪農牛衛生・環境対策指導		12
	肉牛	肉用牛衛生・環境対策指導		3
	豚	養豚衛生・環境対策指導		0
	鶏	養鶏衛生・環境対策指導		210
	馬	馬インフルエンザ対策指導		0
	各家畜	患畜診療	0	0

(2) 京都市内における過去5ヶ年間の家畜伝染病及び届出伝染病発生状況

年度	伝染病名	家畜の種類	発生頭数	発見場所 (飼育場所)
17	豚丹毒	豚	2頭	南区(宇治市)1頭 南区(山城町)1頭
	サルモネラ症 牛白血病	豚 牛	2頭 1頭	南区(現・南丹市)2頭 南区(長野県)1頭
18	豚丹毒	豚	3頭	南区(三重県)2頭 南区(亀岡市)1頭
	牛白血病	牛	1頭	南区(兵庫県)1頭
19	豚丹毒	豚	36頭	南区(亀岡市)20頭 南区(三重県)16頭
	豚赤痢 サルモネラ症	豚 豚	10頭 3頭	南区(三重県)10頭 南区(南丹市)3頭
	牛白血病	牛	1頭	南区(南丹市)1頭
20	豚丹毒	豚	99頭	南区(亀岡市)98頭 南区(南丹市)1頭
	豚赤痢 牛白血病	豚 牛	2頭 1頭	南区(三重県)2頭 南区(長野県)1頭
21	豚丹毒	豚	84頭	南区(亀岡市)72頭 南区(福知山市)6頭 南区(南丹市)1頭
	レプトスピラ症	犬	2頭	南区(大阪府)1頭 南区(三重県)4頭
	牛白血病	牛	1頭	伏見区(京都市)1頭 伏見区(宇治市)1頭 南区(鹿児島県)1頭

(5) 家畜法定伝染病の種類 (26 疾病)

家畜の伝染性疾病	対 象 家 畜
牛疫	牛, 水牛 めん羊, 山羊, 豚, しか, いのしし
牛肺疫	牛, 水牛 しか
口蹄疫	牛, 水牛 めん羊, 山羊, 豚, しか, いのしし
流行性脳炎	牛, 水牛, 馬, めん羊, 山羊, 豚, しか, いのしし
狂犬病	牛, 水牛, 馬, めん羊, 山羊, 豚, しか, いのしし
水胞性口炎	牛, 水牛, 馬, 豚, しか, いのしし
リフトバレー熱	牛, 水牛, めん羊, 山羊, しか
炭疽	牛, 水牛, 馬, めん羊, 山羊, 豚, しか, いのしし
出血性敗血症	牛, 水牛 めん羊, 山羊, 豚, しか, いのしし
ブルセラ病	牛, 水牛 めん羊, 山羊, 豚, しか, いのしし
結核病	牛, 水牛 山羊, しか
ヨーネ病	牛, 水牛 めん羊, 山羊, しか
ピロプラズマ病 (注1) (省令で定める病原体に限る)	牛, 水牛, 馬, しか
アナプラズマ病 (注2) (省令で定める病原体に限る)	牛, 水牛 しか
伝達性海綿状脳症	牛, 水牛 めん羊, 山羊, しか
鼻疽	馬
馬伝染性貧血	馬
アフリカ馬疫	馬
アフリカ豚コレラ	豚, いのしし
豚コレラ	豚, いのしし
豚水胞病	豚, いのしし
家きんコレラ	鶏, あひる, うずら, 七面鳥
高病原性鳥インフルエンザ	鶏, あひる, うずら, 七面鳥, きじ, だちょう, ほろほろ鳥
ニューカッスル病	鶏, あひる, うずら, 七面鳥
家きんサルモネラ感染症 (注3) (省令で定める病原体に限る)	鶏, あひる, うずら, 七面鳥
腐そ病	みつばち

注1) バベシア・ビゲミナ, バベシア・ボビス, バベシア・エクイ, バベシア・カバリ, タイレリア・パルバ, タイレリア・アヌラタ

注2) アナプラズマ・マージナーレ

注3) サルモネラ・プロラム, サルモネラ・ガリナルム